

月刊 工場・倉庫通信

月刊「工場・倉庫通信」を発行する「ハコボン建築」は、東野建設工業が運営する工場・倉庫建築ブランドです。工場・倉庫オーナー様の出店計画から操業後のメンテナンスまでトータルサポートをお約束します。東野建設工業の創業87年の実績に甘んじず、お客様のご要望に真摯に向き合い、“低価格・短工期・高品質”な工場・倉庫建築を実現します。毎月、業界の最新情報や成功事例をお届けします。業界全般の最新情報や経営に関する情報などリクエストも大歓迎です。今後とも、「ハコボン建築」を宜しくお願いたします！

令和4年3月号

【発行元】

東野建設工業株式会社
〒020-0807
岩手県盛岡市加賀野2-8-15
TEL : 019-623-5575
FAX : 019-623-5576

健康経営のための工場・倉庫づくりとは？

今回は、健康経営のための工場・倉庫づくりをご紹介します。

本記事をご覧の方でも、築年数30年以上を経過した工場・倉庫で操業を続ける事業者様も多くいらっしゃるのではないのでしょうか。

破損や老朽化の著しい建物・設備は、作業効率や品質を悪化させるだけでなく、従業員のモチベーション低下を招き、有能な人材や若手・女性従業員も集まりにくくなります。

工場・倉庫は、工程の効率化が重視されがちですが、企業価値を高める職場環境づくりも大切です。



従業員イメージ

「健康経営」とは？

「健康経営」とは、従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践することです。

経済産業省の「健康経営優良法人」や（財）日本次世代企業普及機構の「ホワイト企業認定」、公益企業IWBIの「WELL認証制度」などの登録により、自社の健康経営をPRする企業も増えています。

コロナ禍では、メンタルの不調をはじめ、運動・睡眠不足、肩こり・腰痛など、心身に不調を訴える事例が数多く報告されました。

このため、企業では、過重労働や長時間労働の是正をはじめ、コミュニケーションの促進、食生活の改善、運動機会の提供、メンタルヘルス不調者の対応などが求められています。

アフターコロナでの新たな働き方への対応とともに、従業員の健康管理を改めて見直す機会となっています。

健康経営の実践手法とは？

製造業のA社は、「健康経営優良法人」や「ホワイト企業認定」に登録する企業です。

同社は、従業員の平均年齢33.7歳、過去5年間で新卒入社33名、離職者2名という“人が集まり辞めない職場環境”をつくりあげました。

健康経営の目標の1つに、「従業員のメタボリックシンドローム率（内臓肥満、高血圧、高血糖、脂質代謝異常など）を、全従業員の10%以内に抑える」という項目を掲げています。

このため、工場のリニューアル時に、フィットネスルームやリラックスマームを新たに設置しました。

健康診断で肥満と診断された従業員は、次回、基準値をクリアできるよう、施設内でトレーニングに励むというユニークなルールを実践しています。

健康経営のための工場・倉庫づくりのまとめ

職場環境では、従業員の活力向上や生産性の向上などの組織の活性化によって、結果的に業績向上に寄与することが期待されています。

工場・倉庫のリニューアルをお考えの際は、健康経営を意識した工場・倉庫づくりを進めてみてはいかがでしょうか？

何卒、宜しくお願いいたします。



工場・倉庫建築に使える
お得な補助金レポートはコチラ



工場・倉庫建築専門店「ハコポン建築」

(お問合せ窓口: 牟田、高村)

TEL: 019-623-5575 FAX: 019-623-5576

〒020-0807 岩手県盛岡市加賀野2-8-15

お問合せは
こちらまで

※尚、今後このようなご案内が不要な場合は、右の欄にチェックを入れて
019-623-5576迄ご返信をお願い致します。

案内
不要